

McAfee Enterprise Mobility Management

ビジネスで利用されるモバイル機器の問題を解決

主な特長

異種デバイスのサポート

McAfee EMM では、一元管理コンソールから既存の管理プラットフォームに接続し、ノート PC の場合と同様にモバイル機器の確認、制御、保護を行うことができます。

集中管理

McAfee EMM では、モバイル機器固有の機能だけでなく、既存の IT インフラとネットワーク固有の機能も利用するため、サポートコストを削減し、全体的な TCO を抑えることができます。

新しいアプリケーションモデル

McAfee EMM では、企業環境（アプリケーション）をモバイルユーザーに安全な方法で展開できるため、生産性を向上させるだけでなく、競争上の優位を維持し、収益の向上を図ることができます。

ビジネスの世界でも Apple iPhone、Apple iPad、Android などの最新のモバイル機器を利用するユーザーが急速に増えています。このような状況を IT 担当者は必ずしも好ましいこととは考えていません。モバイル機器を効率よく管理し、保護できるツールがないことがその理由です。しかし、このような心配はもう不要です。モバイル機器向けのソリューションである McAfee® Enterprise Mobility Management (McAfee EMM®) は、機器の製造元に関係なくスマートフォンやタブレットを管理・保護する Web サービス プラットフォームを提供します。この強力な管理プラットフォームにより、ノート PC やデスクトップの場合と同様のツールを使用してモバイル機器を管理し、保護することができます。企業のモビリティ戦略は、情報保証、管理、運用、ヘルプデスクなど、IT 組織全体の要件を満たす必要があります。マカフィーでは、このような管理を全方位のモビリティ管理と呼んでいます。

情報保証

McAfee EMM ソリューションを利用すると、組織のセキュリティ管理者はコンソールからポリシーを編集できます。ポリシーは、ユーザーが使用するモバイル機器の種類とユーザーの作業に伴うセキュリティ リスクに応じて作成できます。また、企業のディレクトリ サービスで管理されているグループ内のメンバーシップによってポリシーの割り当てを行うことができます。

会社のデータを保護し、サービスに対するアクセスを制限するために、どのようなセキュリティ対策を実施すれば良いのでしょうか。経営陣は多少自由度のあるセキュリティ ポリシーの方が良いと考えているかもしれませんが、機器の紛失や盗難の危険が高い販売部門ではより厳密なセキュリティポリシーを必要とします。どちらのポリシーでも、モバイル機器を効果的に保護するために McAfee EMM ソリューションでサポートする IT 管理機能を記述します。また、いずれのポリシーでも、電子メール、連絡先、予定表、文書に対する暗号化とパスワードによるデータ保護を指定します。

すべてのポリシーは、ポリシーを施行する McAfee EMM Device Agent (McAfee EMM デバイス エージェント) に無線で送信されます。コンソールのレポート ツールでコンプライアンス レポートを表示すると、各ユーザーのモバイル機器のセキュリティ状況を確認できます。マカフィーのソリューションでは、ネットワーク アクセス制御 (NAC) も重要なコンポーネントの一つです。これにより、情報保証担当者はユーザーのコンプライアンスを維持することができます。

管理と運用

McAfee EMM Audit & Compliance Service (McAfee EMM 監査コンプライアンス サービス) では、配備されたモバイル機器をすべて検出し、分類できます。この機能は、モバイル機器のハードウェア、ソフトウェア、状態などの詳しい情報を収集します。McAfee EMM コンソールのレポート ツールを使用すると、モバイル機器の数、シリアル番号、型番番号など、組織内で使用されているモバイル機器の状況を確認し、会社全体での配布計画を立て、メンテナンスを実施できます。

McAfee EMM ソリューションは、それぞれのモバイル機器だけでなく、アプリケーションのポリシー管理と自動配備も行います。これにより、モバイル ユーザーは信頼されたアプリケーション環境を簡単に利用することができます。グループ ポリシーによって、アプリケーションのインストールとアップグレードを行うこともできます。

役割によるエンタープライズ モビリティ管理

機能 / ポリシー		データ保護のセキュリティ ポリシー (例: 会社の経営陣)	厳密なセキュリティ ポリシー (例: 販売部門)
管理サポート機能	全般	管理パスワードによるアクセスとレポート	管理パスワードによるアクセスとレポート
	ヘルプ デスク	ワイプ (全体または選択)、リモートからのロック解除、アンインストール	ワイプ (全体または選択)、リモートからのロック解除、アンインストール
データ保護	暗号化の方法	AES 256	AES 256
	保護するファイル	Personal Information Manager (個人情報マネージャ: PIM)、Microsoft Office 文書、Microsoft Internet Explorer	Personal Information Manager (個人情報マネージャ: PIM)、Microsoft Office 文書、Microsoft Internet Explorer
ユーザー認証	パスワード	6 桁の PIN。10 回まで試行を許可。失敗後にワイプ。アイドル タイマーを 5 分に設定。	6 桁の PIN。10 回まで試行を許可。失敗後にワイプ。アイドル タイマーを 5 分に設定。
周辺機器とリソース制御 *	赤外線通信	有効	ブロック
	WiFi	有効	ブロック
	Bluetooth	有効	ブロック
	カメラ	有効	ブロック
	SD カード	すべてのファイルを許可 / 暗号化	すべてのファイルを許可 / 暗号化
アプリケーション管理	イメージ ロック	無効	有効
	SMS/MMS 監視 *	無効	有効
	IP 監視 *	無効	有効
	Web ブラウザ	許可	ブロック
管理制御 *	ログイン モニター	有効 - 15 日後にモバイル機器を自動的にワイプ	有効 - 15 日後にモバイル機器を自動的にワイプ

*Microsoft Windows 搭載のモバイル機器にのみ該当します。

ヘルプ デスク

様々なモバイル機器を効率よく配布して管理するには、適切なヘルプ デスク ツールが不可欠です。McAfee EMM ソリューションにはイメージ管理、配備、レポートを行うツールが用意されています。また、リモートから対話モードで診断を行うことができるので、ユーザから機器を回収しなくても問題解決を行うことができます。ユーザーがモバイル機器やノート PC の Web ブラウザからアクセスできる McAfee EMM Self-Service Portal で、一般的な問題に関する情報を提供するので、ユーザーの満足度を低下させることなく、ヘルプ デスク スタッフの負荷を軽減できます。

サマリ

McAfee は、Forbes Global 2000 の企業に対してエンタープライズ モビリティ管理ソリューションを提供するリーディング プロバイダーです。多くの企業の IT 部門がマカフィーのソリューションによってモバイル機器を効率よく一元管理しています。マカフィーでは、IT 管理者とヘルプ デスク スタッフがモバイルアプリケーションに対するポリシーの実装、ユーザー サポート、コンプライアンス対応を簡単に実行できる独自の手法を提供しています。詳細については弊社の Web サイトをご覧ください。www.mcafee.com/jp

McAfee、McAfee のロゴおよび McAfee EMM は米国法人 McAfee, Inc. またはその関係会社の登録商標です。本書中のその他の登録商標および商標はそれぞれその所有者に帰属します。本資料に記載されている製品計画、仕様、製品情報は、情報提供を目的としたものであり、本資料の内容に対してマカフィーは如何なる保証も行いません。本資料の内容は予告なしに変更される場合があります。Copyright © 2010 McAfee, Inc. 10101brf_emm_0710_fnl_ASD

利点

McAfee EMM は、企業のモビリティ管理戦略において重要なソリューションです。

- IT 管理者とヘルプ デスク担当者がモバイル アプリケーションに対するポリシー実装、ユーザー支援、コンプライアンス対応を簡単に行うことができるため、運用コストを削減できます。
- モバイル環境での作業要件を満たしながら、多種多様なモバイル機器を管理し、保護することができます。
- CIO は、企業情報の安全性を維持しながらモビリティのコストを管理できます。

これらの機能により、CIO は最適なモバイル機器とアプリケーションをユーザーに選択させることができます。



マカフィー株式会社
www.mcafee.com/jp

東京本社 千 150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-12-1
渋谷マークシティ西エスト 20F
TEL 03-5428-1100 (代) FAX 03-5428-1480

名古屋営業所 千 460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 3-20-17
中外東京海上ビルディング 3F
TEL 052-954-9551 (代) FAX 052-954-9552

西日本支店 千 530-0003 大阪府大阪市北区堂島 2-2-2
近鉄堂島ビル 18F
TEL 06-6344-1511 (代) FAX 06-6344-1517
千 810-0801 福岡県福岡市博多区中洲 5-3-8
アクア博多 5F
TEL 092-287-9674 (代) FAX 092-287-9675